

会 議 録

会議の名称	令和4年度第1回茨木市環境審議会
開催日時	令和5年2月10日（金） （午前・ 午後 ） 2時00分 開会 （午前・ 午後 ） 4時00分 閉会
開催場所	茨木市福祉文化会館203号室
議 長	岩渕 善美
出席者	岩渕 善美、大岩 賢悟、風間 明広、金谷 健、狩野 尚美、久米 辰雄、佐藤 匠、諏訪 亜紀、田中 耕司、前迫 ゆり、山田 俊一【11人】
欠席者	奥野 美鈴 【1人】
傍聴人	0人
事務局職員	松本産業環境部長、中村産業環境部次長兼環境事業課長、村上資源循環課長、高橋環境政策課長、西川環境政策課参事兼指導係長、井澤環境政策課主幹兼政策係長、岡環境政策課推進係長、福本環境政策課職員 【8人】
開催形態	公開
議題・報告	1 議題 (1) 環境審議会会長及び副会長の互選について (2) 令和4(2022)年度版いばらきの環境（令和3(2021)年度実績報告書）について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4(2022)年度版いばらきの環境（令和3(2021)年度実績報告書）（本編）（案） ・令和4(2022)年度版いばらきの環境（令和3(2021)年度実績報告書）（資料編）（案） ・【参考】前・地球温暖化対策実行計画（区域施策編）進捗状況

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	開会
事務局	<p>本日の会議の成立について報告する。 12名の委員のうち、11名に出席いただいております、環境審議会規則第3条第2項により会議は成立している。</p>
	1 審議会会長及び副会長の互選について
事務局	<p>本審議会の会長を決めていただきたい。 茨木市環境審議会規則第2条第1項の規定により、委員の互選により決めることとなっている。</p>
久米委員	事務局で何か考えはあるか。
事務局	<p>これまでの本審議会の経緯を把握している委員に就任いただくのが一つの方法であるかと思う。直前まで副会長であった岩淵委員にお願いするのはどうか。</p>
久米委員	事務局の提案で結構かと思う。
	＜他委員からも異議なしの声＞
事務局	<p>委員の互選により、岩淵委員が会長に決定した。 茨木市環境審議会規則第3条第1項の規定により、岩淵会長に議長をお願いしたい。</p>
	＜会長あいさつ＞
会長	<p>それでは会議を進行する。 副会長を決めたいが、規則によると、副会長も互選で決めることとなっている。 私から提案で前迫委員をお願いしたいと思うが、何か意見はないか。</p>
	＜異議なしの声＞
会長	それでは、副会長は前迫委員にお願いする。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
会長	次に、会議の公開について、事務局から説明を願いたい。
事務局	本市の審議会等については、「審議会等の会議の公開に関する指針」により、会議は原則公開としている。 会議において、非公開とすべき事案が出れば、その都度、審議会で決定いただく。 また、配付している傍聴要領について、電子申請による傍聴の申込み開始のため、これまでの傍聴要領から「1 傍聴する場合の手続き」の(1)の文言を、朱字のとおり追加させていただきたいと考えている。
会長	本審議会の会議は原則公開で、傍聴要領について、電子申請による変更の提案があったが、異議はないか。 ＜異議なしの声＞
会長	本審議会の傍聴要領を事務局提案のように改めることとする。 次に会議録等の取り扱いについて、説明を願いたい。
事務局	会議録は公開で、発言した委員名も記載することとする。発言内容は要点筆記の形で作成する。 本日配付した資料は、後日、会議録とともに市のホームページに公開する。 次に、傍聴における資料公開について説明する。会議の開催にあたり、傍聴の受付をホームページで周知し、事前申込があったが、本日の傍聴は0人である。 なお会議室での傍聴者には、資料を配付する。
会長	続いて、本審議会で議案を審議するにあたり、茨木市から本市議会に諮問を受ける。
事務局	＜諮問書読み上げ＞ 1 議題「令和4(2022)年度版いばらきの環境」について
会長	諮問を受けたので議題に入る。 「令和4年度版いばらきの環境(令和3年度実績報告書)」について、事務局から説明をお願いします。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	「(1) 令和4(2022)年度版いばらきの環境(令和3(2021)年度実績報告書)について」資料に基づき概要を説明
会長	事務局から説明があった。 会議運営上、それぞれの基本施策ごとに15分の意見交換の時間を設けたい。P. 1の「はじめに」から、P. 13の一つ目の基本施策「いごこの良い生活環境をたもつ」の意見交換を行いたい。もし、各基本施策の意見交換の時間で言いそびれた意見等がある場合は、会議終了後、事務局に送っていただきたい。そのような進捗で良いか。
	＜異議なしの声＞
会長	それではP. 13までで、ご意見等のある方は、挙手いただきたい。
金谷委員	P. 10の「浮遊粒子状物質」やBODをはじめ基本施策1の指標のグラフが読めないところがある。いずれのグラフもP. 10の「一酸化炭素」のグラフほどの見やすさにしてほしい。
事務局	グラフの見直しを行う。
山田委員	P. 3の航空写真について、方角が記載されていない。加えて昨年度と比較して、航空写真へのコメントを削除した理由を伺いたい。また、P. 6・7のページの黄色枠の説明が「目指すまちの姿」等に被っていて文言が隠れてしまっている。
事務局	茨木市の北部地域に対してネガティブなイメージを持たれるのを避けるために、航空写真のみを掲載する形となった。地点の紹介ができるかどうか、担当課に確認する。 P. 6・7については、P. 22・23の内容を参考に、各基本施策、取組方針ページの見方を黄色枠で説明しているため、隠れている部分はP. 22・P. 23を見ていただくということで理解いただきたい。
会長	P. 6・7についてはあくまで記載例であることが分かるよう、配慮いただきたい。
久米委員	茨木市は年々人口増加していることに加え、河川の水質の環境基準が概ね達成されている全国的にも珍しい自治体で、そのあたりのPR

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	をP. 3に掲載してみるのはいかがでしょうか。
事務局	スペースを考えながら掲載可能か検討する。
金谷委員	P. 3の航空写真の部分はこのレイアウトで完成なのか。P. 3の最初に「本市の変遷を見ていく」と記載しているのにも関わらず、一切航空写真に対する説明がないのは、矛盾している。 航空写真の色合いも平成26年度と令和3年度で異なっているので、統一してほしい。
事務局	可能な範囲で対応する。
会長	次に、P. 14からP. 19の二つ目の基本施策「バランスのとれた自然環境をつくる」部分の意見交換を行いたい。ご意見等のある方は、挙手いただきたい。
山田委員	茨木市を災害から守ってくれる安威川ダムのPRを、本冊子でもするのはどうか。
事務局	安威川ダムについては大阪府等と連携しながら進めているため、掲載できる内容について、担当課に確認する。
前迫委員	本冊子を市民に見てもらうために、わかりやすい表現を心がけることは非常に重要である。P. 15の「みどりのカーテン」の取組やP. 18の「ホテルの生育できる環境づくり」の写真が不鮮明で何の取組か写真からは分からない。 また、コロナマークについて、目次で「コロナで影響のあった事業に入れている」と説明があるが、コロナの影響は様々なかたちで我々が受けているため、マークを入れる基準をはっきりと説明したほうが良い。マークそのものは、イベント系に入れている傾向に見えるが、イベント系以外でこのマークを入れているものはあるか。
事務局	イベント系の事業が多いが、経済活動の縮小で減少しているP. 26の事業系ごみ排出量など、新型コロナウイルスの影響が考えられるものにはマークを入れている。
前迫委員	コロナの影響があった事業は非常に多くあると思うので、イベント関連にのみ入れるのも一つの手かと思う。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	このマークは、市で共通して使用しているものか。
事務局	本冊子でのみ使用しているマークである。
前迫委員	取り扱いを含め検討いただきたい。
狩野委員	P. 11のライフサイエンス系施設や環境保全協定など、市民にとってあまりなじみのない言葉が出てくるのはどうか。
会長	本冊子の最終ページにあるような用語解説に入れるか注釈を入れるなどして、補足説明していただきたい。
事務局	補足説明について、記載方法を含めて検討する。
大岩委員	P. 17の「森林整備について」のところで、2024年度から森林環境税が新たに課税されることや、その税を活用した事業について掲載してほしい。
事務局	P. 17の下部にスペースがあるため、内容を含め担当課と調整する。
会長	次に、P. 20からP. 25の三つ目の基本施策「ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす」部分の意見交換を行いたい。
久米委員	<p>P. 22の「再生可能エネルギー導入件数」について、価格低下による増加と記載しているが、茨木市では資料編P. 38に掲載のとおり、浄水場などの公共施設に再生可能エネルギーを導入している。そのような取組をここに掲載することはできないか。</p> <p>また、小水力発電を導入している自治体が出てきているが、茨木市でも導入予定はあるのか。検討でもしているのであればここにその旨を記載しても良いと思う。</p>
事務局	市で管理している水道施設で小水力発電の導入を検討していると聞いている。
久米委員	公共施設への太陽光発電の設置は進んでいると思うので、報告書内でPRしてほしいと思う。
事務局	該当ページの余白部分に記載できるかを含めて、検討する。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
大岩委員	P. 23の「太陽光発電システム設置場所の貸し出し」の発電量は、一般家庭何世帯分の発電量など、例えてもらえるとわかりやすい。
事務局	世帯平均の電気使用量のデータを参考にして掲載を検討する。
久米委員	P. 23の「雨水貯留タンク」の説明では「下水道へ流出を抑制」、「雨水浸透ます」の説明では、「下水道へ流入することを抑制」と記載されているため、「流出」と「流入」の表現を統一してほしい。
金谷委員	「コロナマーク」について、各事業においてコロナの影響が全くなかったと断言するのは難しいため、削除したほうが良い。 P. 20の「プラットホームの参加者数」の指標のように、説明文の中で記載すれば良い。
事務局	コロナマークを削除して文章で記載する形で、全体を整理する。
田中委員	市民の中では、地球温暖化を実感している人が少ないように感じる。 P. 20の「市民一人当たりの温室効果ガス排出量」の指標をみると、現在の生活を維持していれば問題ないのかと思う人が出てくる可能性がある。単に減少していることを説明するだけでなく、減少要因を記載してほしい。
事務局	減少要因等を記載することで、今後の市民等の環境行動に繋げるよう掲載内容を工夫する。
会長	P. 26からP. 32の四つ目の基本施策「きちんと分別で資源の循環をすすめる」部分と、P. 33・34「環境意識・環境教育・環境行動」部分の意見交換を行いたい。
大岩委員	P. 33の「茨木市環境教育ボランティア」のQRコードは、再確認していただきたい。
事務局	確認する。
佐藤委員	P. 26の指標は目標値が設定されているが、そのほかの指標では設定されていない。他にも数値目標を設定しているのであれば、P. 26と同じような形で掲載してほしい。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	P. 26の目標値は、一般廃棄物処理基本計画で定めている目標値を掲載している。P. 28の「資源物回収量」や「集団回収量」は数値目標を定めていないため、このような記載となっている。
久米委員	P. 32の「茨木のごみ処理施設について」のところで、ごみ発電について触れてほしいことに加え、その発電量が何世帯分くらいの発電量なのか例えを掲載してほしい。
事務局	うまくアピールできるところは、表現を工夫していきたい。
大岩委員	同じくP. 32の「茨木のごみ処理施設について」のところで、リサイクル率のデータ等があるのであれば、文章の中に入れてもらうのも良いと思う。
事務局	市ホームページ上では、北摂間の比較という形で掲載している。本報告書にも掲載できるか、検討する。
金谷委員	P. 26の「市民1人1日あたりの家庭系ごみ排出量」についても、新型コロナウイルスの影響があるのではないか。
事務局	コロナ禍前後のデータを比較すると、0.8gのみの減少であることから、新型コロナウイルスの影響と評価はしていない。
金谷委員	プラスチックやダンボールの量は、どう変化しているのか。
事務局	データを確認し、該当する指標の説明に掲載できるか検討する。
大岩委員	一斉清掃や食品ロスに関する取組は、この冊子では記載しないのか。
事務局	一斉清掃はP. 12の基本施策1のところに掲載している。
会長	次に、地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の部分で意見交換を行いたい。意見のある方は挙手をお願いする。
狩野委員	別5の「Cool Choice Challenge」がどのような取組なのか、明記してほしい。

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	取組内容を明記する。
前迫委員	ページが戻るが、P. 38の「実施計画の施策評価」のSDGsのアイコンは、どこか別の計画や会議等で決めたものなのか。
事務局	<p>茨木市環境基本計画の上位計画の「茨木市総合計画」の後期基本計画の中で決めたものである。</p> <p>環境基本計画策定時はSDGsの考え方は無かったため、環境基本計画の年次報告部分ではアイコンを掲載していない。</p>
前迫委員	基本施策2「バランスのとれた自然環境をつくる」のところで、いわゆるウェディングケーキモデルでセットにされている「14 海の豊かさを守ろう」のアイコンが無いことに違和感がある。
事務局	次の環境基本計画の改定作業の際に、検討する。
前迫委員	基本施策3「ライフスタイルの見直しで低炭素なまちをめざす」に「15 森の豊かさを守ろう」が無いのも違和感があるため、アイコンの紐づけについて検討していただきたい。
会長	P. 38のSDGsアイコンは茨木市総合計画の話であることを、環境基本計画との位置づけを示したうえで、明記していただきたい。
金谷委員	P. 38の天気マークは、「雨が降ることが悪い」というイメージを抱かれる可能性があるので、○などの記号にした方が良いように思う。
事務局	天気マークは、過去の審議会の会議で指摘があり掲載している経緯がある。ただし、誤解を招かないように別の記号にしたい。
佐藤委員	P. 38の評価は、何か数値を基準にして評価を行っているのか。
事務局	特に具体的な数値で判断しているわけではない。
山田委員	頑張っていることがわかるマークなどがあるのであれば、そのようなマークに変えるのも良いと思う。
田中委員	別9の「熱中症搬送者数」の指標はどこかで議論されて掲載している指標なのか。熱中症搬送者数は今後増加傾向になることが予想され

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	るので、難しい指標ではないか。説明文も「気温上昇する中で搬送者数を1人でも少なくするために」といった文言にした方が良い。
事務局	地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定時に定めたものである。指標は審議会からの助言等で見直すことも可能であるため、今後検討する。文言についても追記する。
金谷委員	熱中症搬送者数とは、市内の病院に運ばれた数か。
事務局	茨木市内で熱中症のため救急搬送された数である。
山田委員	P. 4・5の「い・バ・ラ・き環境ニュース」の中で、どれを重点的に取り組んでいるのか分からない。
事務局	4つの基本施策それぞれで、令和3年度の特徴的な取組をあげており、優劣は付けていない。
田中委員	P. 18とP. 19の「安威川ダム」について、ダム建設が生態系に何らかの影響を与えると思うが、そのような今後起こりうる影響に対してどのように自然との共生を図っていくのか、記載いただきたい。
事務局	安威川ダム周辺の公園として「ダムパークいばきた」を整備し、自然とふれあえる機会の提供などを行っていく予定である。記載についても関係課と調整する。
久米委員	新名神高速道路建設の際のビオトープの整備についても説明するのはどうか。
会長	<p>それでは、「令和4(2022)年度版いばらきの環境」に関する審議、は以上とさせていただきます。</p> <p>本日茨木市から、本審議会に諮問を受けたので、答申書の作成が必要になる。答申書の内容は本日の会議で出た意見等を私が取りまとめて文案を作成し、各委員への確認後、市に伝える手順を考えている。特に異議はないか。</p> <p style="text-align: center;">＜異議なしの声＞</p>
会長	特に異議はないので、提案した手順とさせていただきます。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	事務局もこのような手順で問題ないか。
	＜事務局から委員に答申（案）を配付＞
事務局	今配付した答申書（案）が茨木市でのひな形となっている。 ○で埋めている部分に会長が取りまとめる助言等を記載いただく が、「令和4年度版いばらきの環境」冊子のP.36と37にも同様に助言等 を記載することを考えている。
会長	それでは、後日作成した答申書案を、事務局を通じて各委員に送る ようにするので、確認を願いたい。 答申の実施方法について、事務局に質問があるが、今回のような定 例的な報告の議案で、計画策定などと同じような答申書の手渡しは必 要か。
事務局	特に手渡しは必要ない。定例的な諮問に対する答申については、完 成した答申書を郵送で送ることをもって、答申を行ったとすることが できる。
会長	それでは各委員への確認後、完成した答申書を私が郵送で市に送る 形で答申を実施しようと思う。異議はないか。
	＜異議なしの声＞
会長	異議がないので、答申はそのようにさせていただく それでは、本日の議題が全て終わったため、本日の会議は以上とす る。
	閉会